

令和 7 年度 第 1 回国民健康保険運営協議会資料

【保健事業関係】

1 令和 6 年度保健事業の取り組みについて

- | | | |
|---|-------|-----|
| (1) 糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組みについて | ————— | 1 |
| (2) ジェネリック医薬品差額通知事業の取り組みについて | ————— | 3 |
| (3) 医療機関受診勧奨通知事業の取り組みについて | ————— | 5 |
| (4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨通知事業の取り組みについて | ————— | 7 |
| (5) 重複受診者・頻回受診者・重複服薬者等適正受診指導事業の取り組みについて | — | 9 |
| (6) 特定健診・特定保健指導の取り組みについて | ————— | 1 1 |

1 糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	4,939千円	5,181千円	5,258千円	5,606千円	6,743千円	5,500千円
決算額	1,641千円	3,040千円	1,682千円	1,899千円	1,866千円	—
実施体制	【担当】1名 【委託業者】㈱JMDC					
実施場所	1人5回まで面談及び電話等の支援を実施 ＜初回・2回目・中間評価＞公共施設で面談実施 ＜その他＞手紙等で情報提供し、電話にて支援を実施					
実施内容	特定健診等の結果から、慢性腎不全（透析）に移行するリスクが高い被保険者を対象に、重症化を阻止・遅延させるための保健指導を実施し、対象者の健康維持・医療費適正化を図る。					
対象者	2型糖尿病性腎症の患者であって、人工透析導入前の者 前年度特定健診の結果から、以下基準の①及び②または①及び③に該当する者を抽出する。 （「東京都糖尿病性腎症重症化予防プログラム（令和4年3月東京都福祉保健局）」より） ① HbA1c（NGSP）6.5%又は空腹時血糖126mg/dl以上 ② 腎機能が低下していること（尿タンパク＋以上） ③ 血清クレアチニン検査を行っている場合、eGFR60（ml/分/1.73m ² ）未満 （除外する者） ・1型糖尿病患者 ・がん、難病、精神疾患、認知症等により指導に適さない者 ・その他かかりつけ医が除外すべきと判断したもの					
実施期間	対象者抽出期間 5月～7月 参加申込 8月～9月中旬 指導期間 9月～2月					
実施方法	医療機関と協力し、対象者選定を行う。 対象者への案内文送付、勧奨、保健指導については、民間事業者へ外部委託。					

(2) アウトプット評価

	初回面談利用者/対象数	目標	達成状況
令和2年度	11人/114人 (利用率9.6%) (継続率100%)	指導実施 30人/年	未達成
令和3年度	23人/128人 (利用率21.9%) (継続率95.7%)	指導実施 30人/年	未達成
令和4年度	12人/119人 (利用率10.1%) (継続率83.3%)	指導実施 30人/年	未達成
令和5年度	11人/114人 (利用率9.6%) (継続率81.8%)	指導実施 30人/年	未達成
令和6年度	10人/100人 (利用率10.0%) (継続率80.0%)	指導実施 30人/年	未達成

(3) アウトカム評価

	対象数のうち 人工透析移行者数	目標	達成状況
令和2年度	人工透析移行者数 0人	人工透析移行者数 0人	達成
令和3年度	人工透析移行者数 0人	人工透析移行者数 0人	達成
令和4年度	人工透析移行者数 0人	人工透析移行者数 0人	達成
令和5年度	人工透析移行者数 0人	人工透析移行者数 0人	達成
令和6年度	人工透析移行者数 0人	人工透析移行者数 0人	達成

(4) 評価

令和6年度からの新たな取組として、血糖測定機器 (Free Style リブレ) を導入した。対象者の血糖値を一定期間、毎分測定し、スマートフォンに結果を反映することで自身の状態を詳細に把握することが可能となった。終了時のアンケートでは、生活習慣の改善に向け継続的に取り組む意欲を高めることができたとする回答を得ている。令和6年度の対象者について、事業の成果をHbA1cで評価したところ、終了時の数値で改善が確認できた方は62.5%であった。

対象者の抽出及び参加申込段階において、医療機関との協力・連携体制を一層強化し、対象者を確実に事業参加へつなげていく必要がある。

2 ジェネリック医薬品差額通知事業の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	3,200千円	2,424千円	2,424千円	2,424千円	3,168千円	10,824千円
決算額	1,680千円	1,525千円	1,428千円	1,190千円	9,130千円	—
実施体制	【担当】1名 【委託業者】㈱JMD C					
実施内容	被保険者の負担軽減及び医療費適正化のため、先発医薬品より安価なジェネリック医薬品に切り替えた場合の負担額の差額通知を対象者へ送付する。					
抽出条件	年齢指定なし 削減可能額 100円以上 通知間隔 4か月					
実施期間	毎月1回発送					
実施方法	民間事業者へ外部委託					

(2) アウトプット評価

	通知回数	目標	達成状況
令和2年度	毎月実施 7,558通	毎月実施	達成
令和3年度	毎月実施 6,861通	毎月実施	達成
令和4年度	毎月実施 6,362通	毎月実施	達成
令和5年度	毎月実施 5,354通	毎月実施	達成
令和6年度	毎月実施 7,247通	毎月実施	達成

(3) アウトカム評価

	数量シェア	目標	達成状況
令和2年度	後発品普及率 72.27%	後発品普及率 70%	達成
令和3年度	後発品普及率 72.32%	後発品普及率 70%	達成
令和4年度	後発品普及率 74.65%	後発品普及率 70%	達成
令和5年度	後発品普及率 76.47%	後発品普及率 70%	達成
令和6年度	後発品普及率 80.3%	後発品普及率 80%	達成

(4) 評価

令和6年度は、後発品普及率が80%超となり、国が示す「数量シェアを2029年度末までに全ての都道府県で80%以上」とする新たな数値目標を達成することができた。
引き続き、差額通知書にリフィル処方せんやバイオ後続品の概要を記載するなど、被保険者の負担軽減及び医療費適正化を推進していく。

3 医療機関受診勧奨通知事業の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	1,045千円	1,045千円	1,045千円	1,045千円	814千円	832千円
決算額	1,045千円	1,045千円	1,044千円	1,043千円	750千円	—
実施体制	【担当】1名 【委託業者】㈱JMDC					
実施内容	特定健診の結果に異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人を対象に、受診勧奨通知を送付する。					
実施期間	8/25発送	8/24発送	8/26発送	8/25発送	8/30発送	8/28発送
実施方法	民間事業者に外部委託					

(2) アウトプット評価

	通知回数 (通知者数)	目標	達成状況
令和2年度	1回 (200人)	年1回実施	達成
令和3年度	1回 (200人)	年1回実施	達成
令和4年度	1回 (199人)	年1回実施	達成
令和5年度	1回 (198人)	年1回実施	達成
令和6年度	1回 (200人)	年1回実施	達成

(3) アウトカム評価

	対象者の医療機関受診率	目標	達成状況
令和2年度	効果測定対象者197人 受診者29人 対象者の医療機関受診率 14.7%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和3年度	効果測定対象者194人 受診者28人 対象者の医療機関受診率 14.4%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和4年度	効果測定対象者193人 受診者34人 対象者の医療機関受診率 17.6%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和5年度	効果測定対象者190人 受診者37人 対象者の医療機関受診率 19.5%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和6年度	効果測定対象者174人 受診者36人 対象者の医療機関受診率 20.7%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成

(4) 評価

令和6年度から通知デザインを一新し、医療機関受診の必要性を強く訴える内容とした。加えて、生活習慣病の放置による身体への悪影響を説明した4種類の通知（高血糖、高血圧、脂質異常、生活習慣病）を対象者の状況にあわせて送付することにより医療機関受診を促したこともあり、3年連続で受診率が向上した。

4 生活習慣病治療中断者受診勧奨通知事業の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	990千円	990千円	990千円	990千円	748千円	832千円
決算額	819千円	815千円	812千円	815千円	705千円	—
実施体制	【担当】1名 【委託業者】㈱JMD C					
実施内容	生活習慣病発症後に、自己判断により治療中断した者に対して、重篤な疾病予防のため受診勧奨通知を送付する。					
実施期間	8/25発送	8/24発送	8/26発送	8/25発送	8/30発送	8/28発送
実施方法	民間事業者に外部委託					

(2) アウトプット評価

	通知回数（通知者数）	目標	達成状況
令和2年度	1回（44人）	年1回実施	達成
令和3年度	1回（41人）	年1回実施	達成
令和4年度	1回（38人）	年1回実施	達成
令和5年度	1回（41人）	年1回実施	達成
令和6年度	1回（110人）	年1回実施	達成

(3) アウトカム評価

	対象者の医療機関受診率	目標	達成状況
令和2年度	効果測定対象者42人 受診者16人 対象者の医療機関受診率 38.1%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和3年度	効果測定対象者38人 受診者10人 対象者の医療機関受診率 26.3%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和4年度	効果測定対象者37人 受診者18人 対象者の医療機関受診率 48.6%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和5年度	効果測定対象者36人 受診者13人 対象者の医療機関受診率 36.1%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
令和6年度	効果測定対象者(※) 72人 受診者8人 対象者の医療機関受診率 11.1%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成

(4) 評価

令和6年度から通知デザインを一新し、継続的な治療を強く訴える内容とし、生活習慣病の放置による身体への悪影響を説明した3種類の通知(糖尿病、高血圧、脂質異常症)を対象者の状況にあわせて送付したが、引き続き受診率向上へ向けて通知方法等を検討する必要がある。
(※)効果測定対象者は、令和6年度から治療中断者の抽出判定期間を半年から1年に拡大したことにより、対象者数が増加した。

5 重複受診者・頻回受診者・重複服薬者等適正受診指導事業の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	3,641千円	3,774千円	3,636千円	3,813千円	4,455千円	3,640千円
決算額	3,359千円	2,511千円	2,368千円	2,033千円	1,595千円	—
実施体制	対象者への案内文送付、勧奨、保健指導について、民間事業者に外部委託。 【委託業者】(株)JMD C					
実施場所	対象者へ面談指導（対象者自宅への訪問）と電話フォローを各1回実施					
実施内容	多受診（重複受診・頻回受診・重複服薬）の適正化を中心とした健康サポート（保健指導）を実施					
対象者	次のいずれかに該当している国民健康保険被保険者（4月～翌2月診療分のレセプトデータより対象者抽出） 重複受診者：同一疾患で3医療機関以上の医療機関にかかっている方 頻回受診者：1医療機関を8日以上受診している方 重複服薬対象者：同系の医薬品が、計60日を超えて処方されている方 ※がん・難病・精神疾患等の対象者は除外					
実施期間	対象者抽出期間 6月 案内文書発送 7月初旬 指導期間 7月～10月					

(2) アウトカム評価

	指導対象者	減少率（前年度対比）	目標	達成状況
令和2年度	309人	—	指導対象者の減少 20%減（前年度対比）	未達成
令和3年度	252人	18.4%	指導対象者の減少 20%減（前年度対比）	未達成
令和4年度	244人	3.2%	指導対象者の減少 20%減（前年度対比）	未達成
令和5年度	255人	-4.5%	指導対象者の減少 20%減（前年度対比）	未達成
令和6年度	299人	-17.3%	指導対象者の減少 20%減（前年度対比）	未達成

(3) 受診行動改善率の実績

	指導実施人数 (A)	Aのうち指導後の効果把握した人数 (B) ※1	Bのうち指導後に受診行動に改善が見られた人数 (C) ※2	C以外で医療費効果が見られた人数 (D) ※3
令和2年度	45人	44人	38人	3人
令和3年度	25人	24人	23人	0人
令和4年度	21人	20人	17人	2人
令和5年度	12人	12人	12人	0人
令和6年度	20人	20人	19人	1人

※1 指導後にレセプトデータから受診行動の改善が把握できた人数 (※2+※3の人数) 重複受診、頻回受診、重複服薬毎に集計するため、合計人数は※2+※3の人数と一致しない場合がある。(重複受診、頻回受診、重複服薬のいずれの条件に当てはまる対象者が存在するため)

※2 指導後に受診行動が候補者選定の条件以下に改善された人数

※3 指導後に受診行動が候補者選定の条件以下までは改善されなかったが、抽出時の条件より下回って改善された人数

(4) 評価

令和6年度の新たな取組として、小金井市薬剤師会と意見交換等により連携し、重複服薬者への適正受診指導体制の強化を図った。令和6年度は対象者の状況が訪問指導時に改善していたため実績はなかったが、引き続き、医療機関や薬局へ相談につなげることで適正化を図っていく必要がある。

6 特定健診・特定保健指導の取り組みについて

(1) ストラクチャー・プロセス評価

特定健診・特定保健指導 ※上段：特定健診 下段：特定保健指導		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額（委託料）		95,595千円	85,345千円	79,424千円	90,392千円	88,606千円	92,553千円
		12,278千円	8,776千円	8,942千円	8,927千円	10,558千円	9,622千円
決算額（委託料）		73,255千円	77,706千円	74,397千円	71,949千円	69,058千円	—
		5,931千円	4,818千円	5,240千円	4,708千円	5,343千円	—
実施体制		【担当】1名 【特定健診委託業者】市医師会 【担当】1名 【特定保健指導委託業者】(有)ハイレイフサポート					
実施場所		小金井市医師会会員の医療機関 (初回面接・中間評価・最終評価) 市の公共施設で実施 (2回目以降) 面接、電話などにより実施					
実施内容		国保に加入している40～74歳の方を対象に、「生活習慣病」を早い段階から予防するために、年1回の健診を実施する。 健診の結果から、生活習慣病のリスクがある方に、専門家による保健指導を実施する。					
実施期間		6月～12月 9月～3月					
実施方法		対象者は、事前に送付された特定健診受診券及び国民健康保険資格確認書を医療機関の窓口に提出して受診。 民間事業者に外部委託					

(2) アウトプット評価

特定健診	受診者	受診率	目標	達成状況
令和2年度	7,109人	49.0%	60.0%	未達成
令和3年度	7,479人	52.4%	60.0%	未達成
令和4年度	7,042人	51.5%	60.0%	未達成
令和5年度	6,745人	50.9%	60.0%	未達成
令和6年度	6,566人	50.7%	60.0%	未達成

特定保健指導	利用者	実施率	目標	達成状況
令和2年度	159人	20.6%	60.0%	未達成
令和3年度	132人	16.0%	60.0%	未達成
令和4年度	122人	15.9%	60.0%	未達成
令和5年度	107人	15.0%	60.0%	未達成
令和6年度	92人	14.0%	60.0%	未達成

(3) 健診未受診者受診勧奨通知事業

	送付数 (効果測定対象者)	受診者数	受診率	送付日
令和2年度	2,738人 (2,396人)	653人	27.3%	7/27発送
令和3年度	2,689人 (2,359人)	726人	30.8%	8/12発送
令和4年度	2,649人 (2,272人)	700人	30.8%	8/12発送
令和5年度	2,505人 (2,146人)	681人	31.7%	8/14発送
令和6年度	2,901人 (2,877人)	777人	27.0%	8/21発送

(4) 評価

特定健診については、令和6年度からの新たな取組として、健診実施機関一覧のQRコードを周知用チラシに掲載することで受診機関の選択や予約を容易にし、受診率向上へ向けた取組を行ったところであるが、引き続きQRコードを受診へ掲載するなどの取組を進める必要がある。

特定保健指導については、実施率向上へ向け、案内通知の記載内容の工夫や運動教室の開催回数拡大などを引き続き実施していく必要がある。